

第4回宮津まちづくり会議

日時：平成26年6月24日(火)

場所：宮津商工会議所 大会議室

■協議事項

1) 委員の承認について

全員一致で(公社)天橋立観光協会の参画を承認

2) 取り組み方針について(別紙資料参照)

- 前回会議で承認を得た、目指すべき方向性「地域資源を活用し、交流人口を増やしていくことによる地域活性化」の「交流人口」の定義について地域住民目線なのか？観光客目線なのか？委員全員で共通の意識を共有すべきということ、次回、再度協議を行うものとする
- 取り組み方針(案)については、再度検討の必要があるというご意見をいただいたため、再度事務局で協議の上、会議の場に提示するものとする

3) 浜町及び浜町周辺の賑わいづくりに必要な具体的機能、施設等について各委員にご意見を伺ったところ、以下のご意見をいただいた

- 「使える」をキーワードに、家族、地域が遊べる、集える場が必要ではないか？ライブ施設等はどうか？
- 既存の施設をもっと気軽に立ち寄れる場にすべき
- レストラン(魚、野菜、練り物等)
- 観光目線だけではなく、地域住民目線のものが必要
- 海に面した街なのに、お寿司屋さんがない(寿司通り)
- 家族が出かける際の行先は、女性の意向が優先されやすい、よって女性をターゲットにしたものも必要なため、会議の場にもっと女性の意見を入れるべきではないか？
- 観光地に行ってもどこのモノかわからない商品が並んでいたりする、宮津独自のモノを地元の人達で作っていかなければならない。
- リピーターを増やしていかなければならない
- 宮津市には子供を連れて遊びに行ける公園がない。島崎公園においても遊具なども少なく、駐車場もないため家族でくつろぐことができない。

公園の利用だけでは税収は上がらないが、周辺の施設への導線を作れば市民も憩えて、まちも活気付くのではないか？

- 「海の京都」で観光客の増加も見込まれる中、市街地を中心とした天橋立への導線作りが重要
- 京都縦貫道の開通と道の駅の建設を控え、宮津で降りていただく仕掛けが必要
- 宮津を丹後観光の中心とし、宮津で丹後観光の情報が全てわかるようなインフォメーションセンターが必要
- 地域の活性化には地場産業の活性化が不可欠である。そのための施策、機能が必要
- 今後まちづくりの中心となる地域のリーダーが早急に必要ではないか？全国公募も含め検討しなくてはならない

■その他

- 会議の公開について
 - ・まちづくり会議において、今後の方向性の決定、承認等を行う場合については公開することで合意
 - ・WGについては、具体の協議を行う場であり、利害関係等に触れることが予想されるため、公開しないことで合意
 - ・まちづくり会議の議事録については、HP上に公開することとする
- ビジターセンターについて（宮津市より説明）
施設デザインについて、まちづくり会議として特に意見なし